

# キュウリ養液栽培における 重量センサを活用した灌水管理の見える化

企画・スマート農業研究担当

## 佐賀県のキュウリ栽培

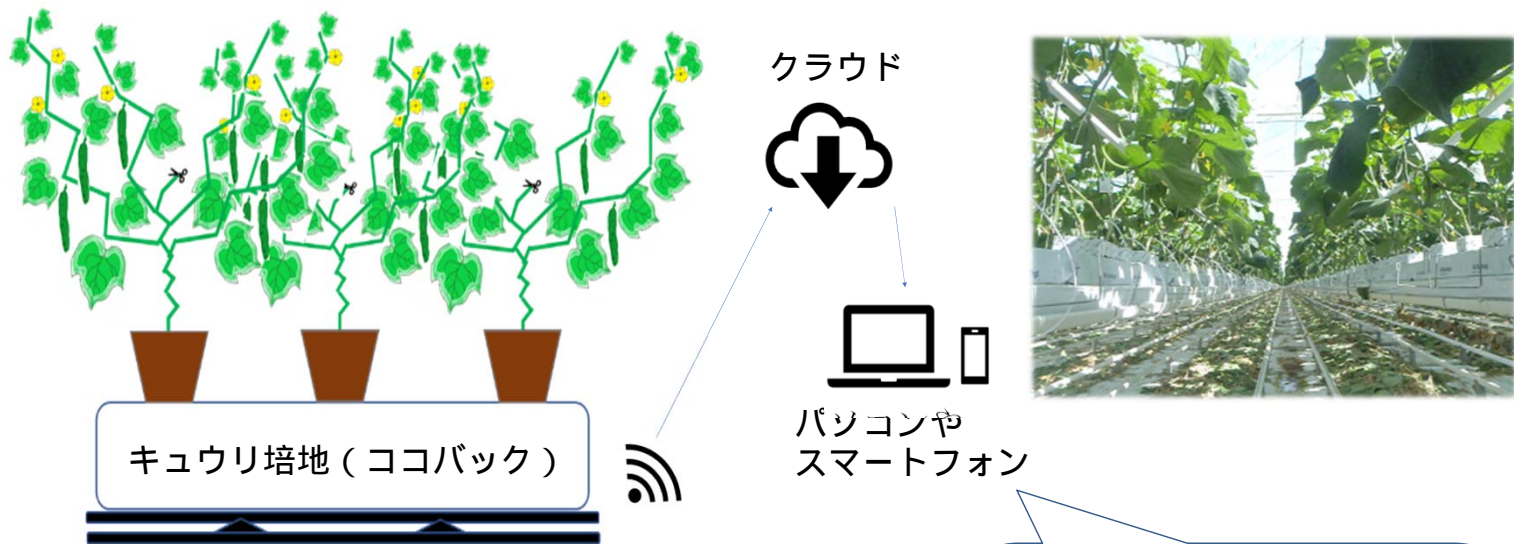
キュウリは、県内に全国でもトップの技術を持つ生産者がおられ、環境制御装置の導入も進んでいる品目です。新規就農者を確保するための重要な取組であるトレーニングファーム事業もキュウリから始まり、佐賀県の重要品目となっています。

## 課題設定の背景

県内農家の所得の向上を図るため、雇用を取り入れながら経営規模の拡大を進めていく必要があります。そのために、大規模栽培が可能となる栽培体系や栽培様式の研究を行います。環境制御により向いている養液栽培において実施します。

## 試験内容

培地重量をリアルタイムに測定し、日射量や培地内の水分率との関係について調査します。右下のグラフのような結果が得られる予定です。灌水を行った段階でグラフが上昇しており、日射比例で灌水が行われているのがわかります。下表の各試験区の各調査項目の結果を確認し、更なる収穫量の増加につなげます。



試験区名	給液方法： 日射比例灌水	調査項目
低区	排水率：10～20%	培地重量、給液量、排水量、 非液開始時間、時間日射量、 培地水分率
中区 (基準)	排水率：30～40%	
高区	排水率：50～60%	

